

目 次

刊行に寄せて
緒 言

小山 隆

第 I 部 ショートステイ及びレジデンシャル・ ソーシャルワークに関する理論

第 1 章 ショートステイの意義と問題点 ————— 3

- 1 ショートステイの歴史 3
 - 1 ショートステイの創設期 3
 - 2 ショートステイの発展期 5
 - 3 介護保険制度下におけるショートステイ 6
 - 4 ショートステイに類似するサービスの台頭 8
 - 5 本節のまとめ 9
- 2 ショートステイの機能 10
 - 1 日本の先行研究から 10
 - 2 海外の先行研究から 14
 - 3 ショートステイの機能とは 18
- 3 ショートステイの利用効果、サービス満足度等 20
 - 1 要介護高齢者（利用者）を対象とした研究 21
 - 2 介護者（家族）を対象とした研究 24
 - 3 サービス満足度に関する研究 27
 - 4 居室・空間に関する研究 29
- 4 ショートステイの抱える諸問題 32
 - 1 ショートステイにおける問題の枠組み 32

2	生活環境の移動に関する問題	34
3	利用者と家族間の問題	37
4	家族と施設職員間の問題	38
5	利用者とは利用者間の問題	39
6	利用者とは施設職員間の問題	40

第2章 ショートステイにおけるレジデンシャル・ ソーシャルワークの意義とその担い手 ——— 45

1	施設の特性と実践の関係	46
1	「レジデンシャル」とは何か	46
2	施設の特性と実践のあり方	47
2	レジデンシャル・ソーシャルワークに関する論点の整理	51
1	名称について	51
2	定義（論点）について	53
3	本書で使用する用語	55
3	レジデンシャル・ソーシャルワークの機能と目的	56
1	レジデンシャル・ソーシャルワークの機能	56
2	レジデンシャル・ソーシャルワークの目的——問題解決の側面を 中心に	63
4	問題解決に向けたレジデンシャル・ソーシャルワークの意義	66
1	高齢者福祉施設における各種援助方法	66
2	レジデンシャル・ソーシャルワークの意義	73
5	ショートステイにおける生活相談員の役割とは	75
1	ショートステイにおける生活相談員の法令上の位置づけ	75
2	生活相談員に関する先行研究の概観	80
3	生活相談員とレジデンシャル・ソーシャルワークの関係	85

第3章 実証研究の目的と調査方法 88

- 1 実証研究の目的 88
- 2 実証研究で採用する方法 89
 - 1 生活相談員の業務実態に関する調査方法 89
 - 2 生活相談員の援助内容に関する調査方法 90
- 3 クリニカル・データ・マイニングとは 91
 - 1 実践に基づいた研究とは何か 91
 - 2 エプスタインの研究方法论——クリニカル・データ・マイニングを中心として 94
 - 3 本書でクリニカル・データ・マイニングを採用する理由 98

第II部 ショートステイにおける生活相談員業務 に関する実証研究

第4章 ショートステイにおける生活相談員業務の特徴 —— A施設の諸記録の分析を通して——

-
- 1 本章の目的 103
 - 2 調査方法 104
 - 1 調査対象 104
 - 2 データの収集方法 106
 - 3 生活相談員業務に関するデータの分析方法 106
 - 3 調査結果 109
 - 1 利用者の基本情報 109
 - 2 生活相談員業務の分析結果 109
 - 4 考 察 116
 - 5 本章のまとめ 119

103

第5章 ショートステイにおける生活相談員業務の実態

——全国のショートステイ事業所へのアンケート調査を通して——

121

- 1 本章の目的 121
- 2 調査方法 122
 - 1 調査対象および方法 122
 - 2 調査項目 122
 - 3 回答方法 124
 - 4 分析方法 126
 - 5 倫理的配慮 126
- 3 調査結果 127
 - 1 基本属性 127
 - 2 業務の「実施状況」と「必要性認識」 129
 - 3 業務の「実施状況」と基本属性との関係 136
 - 4 「実施状況」と「必要性認識」との差異 152
- 4 考 察 156
 - 1 ショートステイにおける生活相談員業務の特徴 156
 - 2 ショートステイにおける生活相談員の本来業務 159
 - 3 基本属性別にみた業務の傾向 161
 - 4 「実施状況」と「必要性認識」との差異 166
- 5 本章のまとめ 168

第Ⅲ部 ショートステイの生活相談員が行う援助 内容に関する実証研究

第6章 ショートステイの生活相談員が関わる相談援助 とは——A施設のケース記録の分析を通して——

175

1	本章の目的	175
2	調査方法	176
1	調査方法の選択	176
2	調査対象	176
3	データの収集方法	177
4	倫理的配慮	177
5	データの分析方法	178
3	カテゴリの生成過程	178
1	オープンコード化（手順①）	178
2	カテゴリの生成（手順②）	180
3	研究協力者によるチェック（手順③）	180
4	カテゴリの修正（手順④）	180
5	カテゴリの統合（手順⑤）	182
6	研究協力者によるチェック（手順⑥）	183
7	上位カテゴリの修正（手順⑦）	184
4	考 察	184
1	本調査のカテゴリと先行研究との対応	184
2	利用者の情報把握に関する機能	185
3	個別援助・相談に関する機能	187
4	調整に関する機能	190
5	苦情およびリスク対応に関する機能	191
6	本調査ではみられなかった機能	193
5	本章のまとめ	194

第7章 ショートステイの諸問題に対する問題解決の実際 ——生活相談員へのインタビュー調査を通して——

196

1	本章の目的	196
---	-------	-----

2	調査の概要	196
1	調査の対象	196
2	調査の実施方法	197
3	倫理的配慮	198
4	質問項目の作成	198
5	分析方法	198
3	調査の結果と考察	199
1	生活環境の移動に関する問題への取り組み	200
2	利用者と家族間の問題への取り組み	206
3	家族と施設職員間の問題に対する取り組み	210
4	利用者とは利用者間の問題への取り組み	218
5	認知症の周辺症状が顕著にみられる利用者への取り組み	223
6	医療依存度の高い利用者への取り組み	229
4	本章のまとめ	234
1	発話内容ごとにみた生活相談員の取り組み	234
2	ショートステイの諸問題に対する生活相談員の取り組み	234
3	生活相談員の取り組みの傾向	240
4	本調査の限界	242

第Ⅳ部 今後の展望と課題

第8章 ショートステイにおけるレジデンシャル・ ソーシャルワークの意義と課題

1	本書のまとめ	245
1	ショートステイの意義と問題点	245
2	ショートステイにおけるレジデンシャル・ソーシャルワークの意義と その担い手	247

3	ショートステイにおける生活相談員業務の実態	248
4	ショートステイの生活相談員が関わる援助内容	250
2	本書の意義と課題	252
1	本書の意義	252
2	実践にむけた提言	255
3	本書の課題	258

結 言

謝 辞

初出一覧

文献リスト

巻末資料 調査票：ショートステイにおける生活相談員の業務に関する調査